

親子三世代での米作り



**Hさん** 中学校・教諭・数学科・経験年数 21年

両親や子どもとともに、田畑に囲まれ生活しています。実家の田畑は父が中心に管理していますが、私も仕事の休みを使い一緒に作業しています。春には田おこしやモミ撒きなどの田植えの準備から始まり、そして田植えから稲刈り、精米まで親子三世代家族総出でやっています。

**その取り組みはどのくらいの頻度で実施していますか。また、どのくらいの期間継続していますか。**

私自身が子どものころから祖父母の農作業の手伝いをしていましたが、県外の大学への進学から就職後の数年間は手伝う機会も減っていました。十数年前に地元に戻ることができてからは、毎年行っています。

**その取り組みをはじめたきっかけを教えてください。**

祖父母、両親のそばで生活する中で、農作業を家族とともにみんなでやることは自然なことでした。季節ごとの作業は祖父や両親、子どもとともにやる家族のイベントの一つになっています。

**その取り組みにまつわるエピソードをできるだけ詳しく教えてください。**

我が家の子どもたちは、幼いころは田んぼで遊んでいるだけでしたが、ここ最近は戦力として率先して動いてくれるようになり頼もしさを感じつつそんな姿がとても嬉しいです。家族とともに初夏に稲の成長を見守る時間、夏の夕涼みに田んぼの見回りをする時間、実りの秋に少しずつ実が膨らみ色づく様子を見守る時間がとても穏やかで大好きな時間です。リフレッシュにもなります。稲の成長を見守りながら、私自身、日々の生活を振り返り明日につなげていく大切な時間になっています。

**あなたにとって、その取り組みはどんな時間ですか？ また、その時間があなたの人生に変化やプラスになったことがあったら教えてください。**

稲の成長は、子どもの成長と重なる部分も多くあります。種をまき肥料と水を与え、ゆっくりじっくり、そして少しずつ力強く成長していく姿は、私自身の子育てにも、仕事で生徒と向き合うときにも、どこか重なる部分があります。すぐに成果だけを求めずに、先を見据えて今大切なことを丁寧にやっていくことの大切さへの気づきは、家庭でも仕事でもとても活かされています。

**仕事との両立で心掛けていることはありますか？ 特に仕事以外の時間をどのように作っていますか。また、その時間を作るコツや工夫していることを教えてください。**

プライベートの時間を確保することと同時に、仕事と真剣に向き合い妥協しないこともとても大切にしています。どちらも充実したものにしていくためには、コミュニケーションが大切だと感じています。職場で同僚とのコミュニケーションも意識的に行っておくことで、仕事の効率アップにつながり、部活動などで休日の出勤が必要なときでも、互いに助け合いながら家族との時間を確保できています。

**今後、仕事以外で挑戦したいこと、勉強してみたいこと、やってみたいこと、目標などがありましたら教えてください。**

仕事以外の時間は子育てに多くの時間を費やしてきていましたが、子どもも少しずつ自立してきたので、しばらく離れていた運動を再開するなど、自分の時間も確保していきたいです。

これから教職員になる方に向けてメッセージをお願いします。

教員になったときは独身で、その後結婚し家族も増えました。独身の時は、仕事の後にフットサルをしたり、仲間と練習後に食事に行ったりという生活を楽しんでいました。家族が増えてからは、家族との時間が活力になっています。それぞれのライフステージに応じて余暇の楽しみ方も変化していきますが、常に人と関わる職種ですので、それらの経験すべてが何らかの形で仕事にも活かしていけると感じています。それがまた仕事への楽しみにもなっていくと思います。

仲間の先生方に向けてもメッセージをお願いします。

私たちの仕事は、常に多くの方と接していて、生徒や保護者、地域の方々、そして一緒に働く同僚の先生方とも密にコミュニケーションを取りながら仕事をする必要があります。人と接する仕事だからこそ、私たち自身の心身の状態もすごく大切になってくると思います。より良い仕事のためにも、それぞれの形で休日にリラックス&リフレッシュできたらいいと考えます。仕事場との切り替えができる時間が明日への活力になると思います。